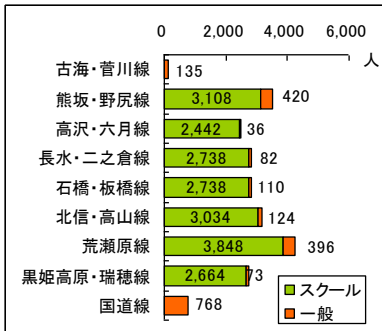


資料3

路線バス及びふれあいコスモス号分析表

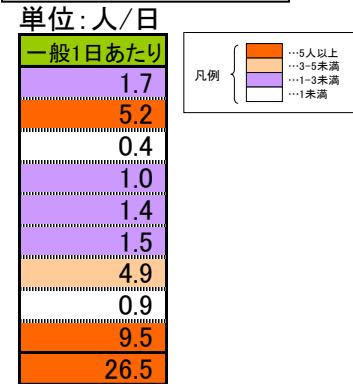
路線バス年間利用者数(10-1月)



単位:人

路線	合計	1日あたり	比率(%)
古海・菅川線	135	1.7	0.6%
熊坂・野尻線	3,528	43.6	15.5%
高沢・六月線	2,478	30.6	10.9%
長水・二之倉線	2,820	34.8	12.4%
石橋・板橋線	2,848	35.2	12.5%
北信・高山線	3,158	39.0	13.9%
荒瀬原線	4,244	52.4	18.7%
黒姫高原・瑞穂線	2,737	33.8	12.0%
国道線	768	9.5	3.4%
合計	22,716	280.4	100.0%

一般利用者数/日



路線バススクール登録者数

単位:人

路線	登録者
古海・菅川線	0
熊坂・野尻線	42
高沢・六月線	33
長水・二之倉線	37
石橋・板橋線	37
北信・高山線	41
荒瀬原線	52
黒姫高原・瑞穂線	36
合計	278

路線バス月別利用者数(10-1月)

単位:人

路線	区分	10月				合計	比率	1日あたり
		10月	11月	12月	1月			
古海・菅川線	一般	59	47	13	16	135	6.3%	1.7
	スクール	798	882	756	672	3,108	15.1%	42.0
	合計	921	990	863	754	3,528	15.5%	43.6
熊坂・野尻線	一般	123	108	107	82	420	19.6%	5.2
	スクール	798	882	756	672	3,108	15.1%	42.0
	合計	921	990	863	754	3,528	15.5%	43.6
高沢・六月線	一般	10	13	4	9	36	1.7%	0.4
	スクール	627	693	594	528	2,442	11.9%	33.0
	合計	637	706	598	537	2,478	10.9%	30.6
長水・二之倉線	一般	35	20	19	8	82	3.8%	1.0
	スクール	703	777	666	592	2,738	13.3%	37.0
	合計	738	797	685	600	2,820	12.4%	34.8
石橋・板橋線	一般	33	24	26	27	110	5.1%	1.4
	スクール	703	777	666	592	2,738	13.3%	37.0
	合計	736	801	692	619	2,848	12.5%	35.2
北信・高山線	一般	35	31	31	27	124	5.8%	1.5
	スクール	779	861	738	656	3,034	14.7%	41.0
	合計	814	892	769	683	3,158	13.9%	39.0
荒瀬原線	一般	113	112	96	75	396	18.5%	4.9
	スクール	988	1,092	936	832	3,848	18.7%	52.0
	合計	1,101	1,204	1,032	907	4,244	18.7%	52.4
黒姫高原・瑞穂線	一般	31	21	11	10	73	3.4%	0.9
	スクール	684	756	648	576	2,664	12.9%	36.0
	合計	715	777	659	586	2,737	12.0%	33.8
国道線	一般	243	169	176	180	768	35.8%	9.5
一般合計		682	545	483	434	2,144	100.0%	26.5
スクール合計		5,282	5,838	5,004	4,448	20,572	959.5%	254.0
総合計		5,964	6,383	5,487	4,882	22,716	1059.5%	280.4

※スクールバス利用者は推計値

時間帯別利用者数

単位:人/日

時間帯別便	合計
朝1便目	0.87
朝2便目	7.63
夕1便目	3.59
夕2便目	2.81
夕3便目	1.94
合計	16.85

[解説]

- 路線バスの4ヶ月間利用者数は22,716人
- うち、一般利用が2,144人、スクール利用が20,572人
- 一般利用では、「国道線」の利用が多く、9.5人/日、「熊坂・野尻線」「荒瀬原線」が5人/日程度になっている。
- 時間帯別には、朝2便目の利用が多く、朝1便目は少ない。
- まだまだ一般利用者が少ない状況だが、現在利用中の中学3年生が、高校入学する次年度の伸びに期待。
- 全体が減少傾向に見えるのは、冬場の登校日数が少ないため。

ふれあいコスモス号居住地域別利用者数(4-2月)

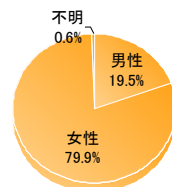
単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	比率	人口	比率
総利用者数	536	586	622	642	692	673	924	934	997	915	1,005	8,526	100.0%	9,238	100.0%
野尻	136	145	168	151	148	172	201	211	215	195	221	1,963	23.0%	1,203	13.0%
古海	68	71	62	72	61	74	109	119	128	137	144	1,045	12.3%	407	4.4%
熊坂	6	5	9	5	5	7	12	7	17	10	15	98	1.1%	105	1.1%
柏原	73	94	117	98	147	146	215	209	240	177	254	1,770	20.8%	3,557	38.5%
古間	23	30	28	22	30	25	34	34	32	36	33	327	3.8%	1,016	11.0%
富濃	68	67	86	99	96	80	141	121	149	131	135	1,173	13.8%	992	10.7%
荒瀬原	49	37	46	57	61	56	62	75	62	60	58	623	7.3%	219	2.4%
大井	66	69	55	61	68	65	68	71	64	67	45	699	8.2%	728	7.9%
穂波	11	19	15	28	39	13	21	32	25	34	30	267	3.1%	441	4.8%
平岡	36	49	36	49	37	35	61	55	65	68	70	561	6.6%	570	6.2%
1日あたり	26.80	27.90	28.27	30.57	30.09	35.42	42.00	44.48	52.47	48.16	59.12	38.06			
1便あたり	0.71	0.73	0.74	0.80	0.79	0.93	1.31	1.39	1.64	1.50	1.85	1.08			

※人口は、「国勢調査H22」より

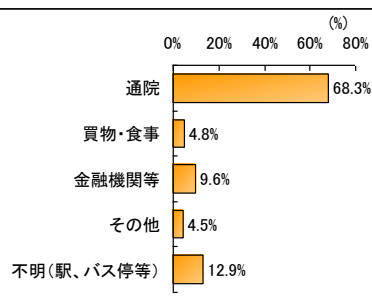
利用者性別

	度数	比率
男性	1,659	19.5%
女性	6,815	79.9%
不明	52	0.6%
合計	8,526	100.0%



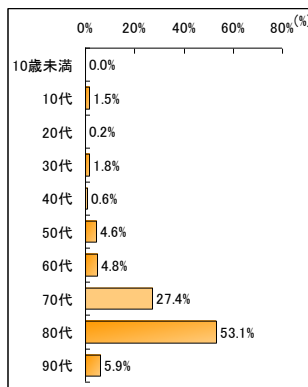
利用目的

	度数	比率
通院	2,971	68.3%
買物・食事	207	4.8%
金融機関等	417	9.6%
その他	197	4.5%
不明(駅、バス停等)	561	12.9%
合計	4,353	100.0%



利用者年代

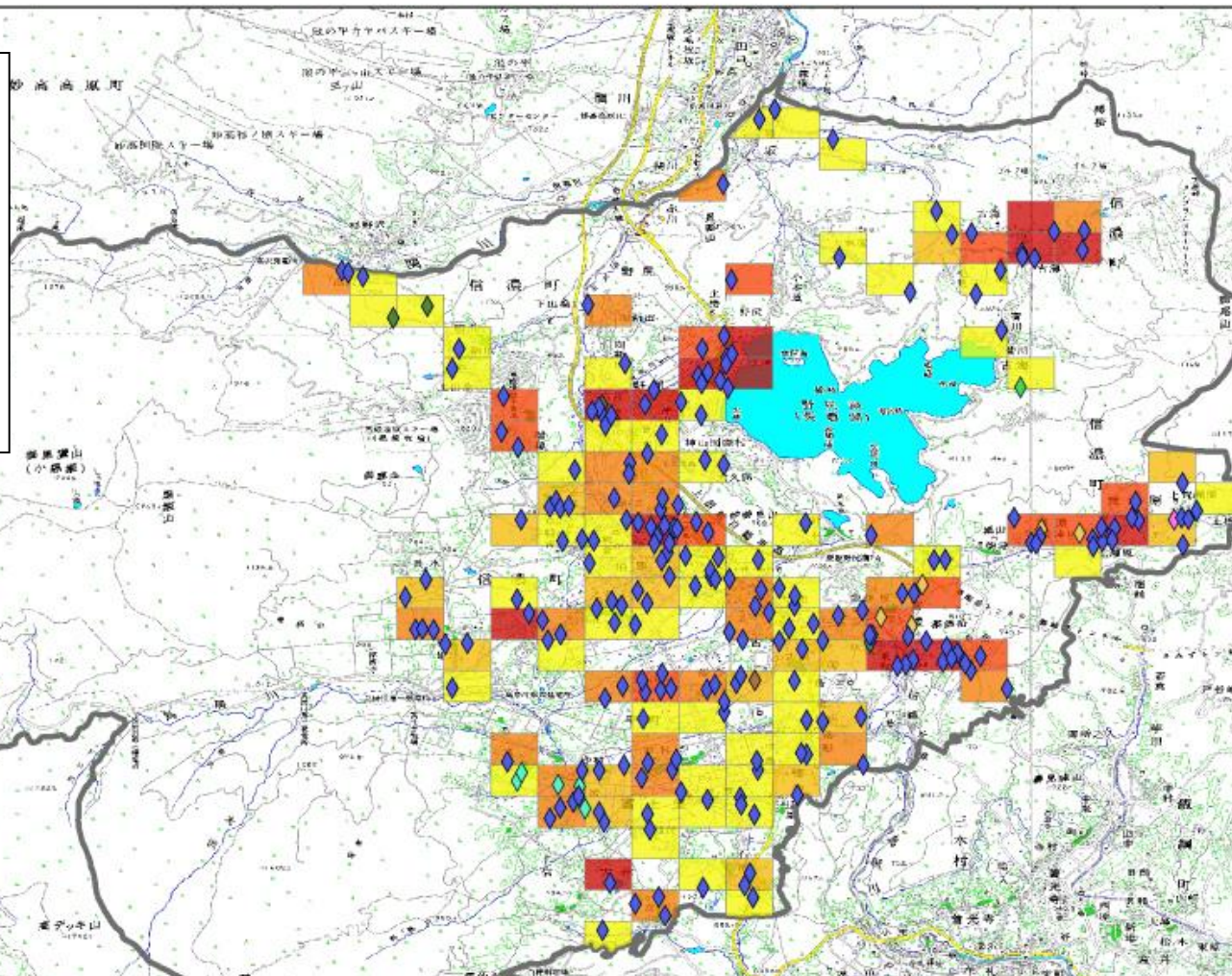
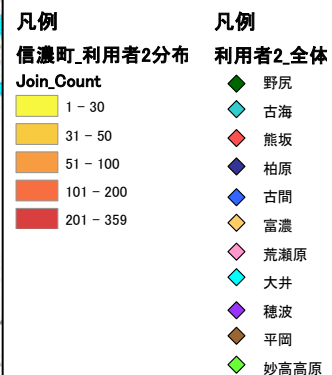
	度数	比率
10歳未満	3	0.0%
10代	124	1.5%
20代	16	0.2%
30代	155	1.8%
40代	54	0.6%
50代	396	4.6%
60代	408	4.8%
70代	2,335	27.4%
80代	4,531	53.1%
90代	504	5.9%
合計	8,526	100.0%



[解説]

- 前半は500-700人/月だった利用者は、運行方法を変更した10月以降に倍増。2月にはついに1,000人/月を突破した。
- 利用が多いのは、野尻、柏原、富濃、荒瀬原、古海などの町民。単純に人口比率から考えると、野尻、古海、荒瀬原地区の利用が多いといえる。
- 男女比では女性が8割を占め、年代では、70代以上が全体の9割近い。
- 利用目的は通院が約7割、次いで金融機関等の利用が1割程度である。

利用者分布と移動目的地



目的地

	度数	比率
信越病院	2,755	63.3%
黒姫駅	412	9.5%
ながの農協信濃町支所	191	4.4%
八十二銀行	103	2.4%
丸山歯科医院	100	2.3%
信濃町役場	83	1.9%
信濃町郵便局	82	1.9%
妙高高原駅	76	1.7%
児玉歯科医院	74	1.7%
竹内歯科	42	1.0%
総合会館	40	0.9%
新井信用金庫	38	0.9%
第一スーパー 古間店	34	0.8%
マツモトキヨシ なかじま古間店	30	0.7%
野尻湖公民館	30	0.7%
ユメリハード&グリーン 信濃町店	27	0.6%
Aコープ柏原店	26	0.6%
白木屋呉服店	24	0.6%
古間駅	21	0.5%
ホビーメイト タカトウ	19	0.4%
その他	146	3.4%
合計	4,353	100.0%

- メッシュデータが、エリア別の総利用者数を示している。
- ダイヤ型のポイントが利用者の居住地で、その色は、どこで降りているかを示している。
- つまり、メッシュの色が濃い、野尻や柏原、富濃、荒瀬原、古海などの利用者数が多く、ほとんどのポイントが青いことから、降車地点は、柏原であることがわかる。
- 目的地は、圧倒的に「信越病院」で、「黒姫駅」が2番目に多い。

車両別1日利用者数推移

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	平均
全体	26.80	27.90	28.27	30.57	30.09	35.42	42.00	44.48	52.47	48.16	59.12	38.06
野尻湖タクシー	5.70	5.57	6.36	5.62	5.09	6.74	8.68	9.76	12.42	10.37	13.35	7.99
長電(野尻)	4.60	4.48	4.41	5.19	4.17	7.21	7.18	7.48	9.68	8.00	11.12	6.54
長電(黒姫高原)	3.60	4.52	3.86	2.71	3.70	5.00	7.09	7.57	8.16	8.47	9.65	5.73
長電(富士里)	2.85	3.29	3.55	4.00	4.26	4.05	6.86	5.95	8.47	7.16	9.41	5.34
長電(富士里)	3.10	3.14	2.82	4.19	4.26	3.79	4.27	5.81	5.53	5.84	7.00	4.46
長電(古間)	6.40	6.33	6.91	8.38	7.78	7.95	7.32	7.29	7.79	7.74	8.18	7.44
野尻湖タクシー(ナイト)	0.20	0.57	0.23	0.38	0.48	0.37	0.14	0.57	0.42	0.37	0.24	0.36
鳥居川タクシー(ナイト)	0.30	0.00	0.00	0.00	0.26	0.26	0.45	0.05	0.00	0.05	0.00	0.13
不明	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.50	1.07

時間帯別利用者数

	人数	比率
全体	8,526	100.0%
8時台	142	1.7%
9時台	2,972	34.9%
10時台	1,293	15.2%
11時台	2,268	26.6%
12時台	701	8.2%
13時台	314	3.7%
14時台	726	8.5%
19時台	110	1.3%

1人が1日に利用する回数

1日利用回数	度数	比率
1回利用	2,994	52.1%
2回利用	2,743	47.7%
3回利用	14	0.2%
4回利用	1	0.0%
合計	5,752	100.0%

[解説]

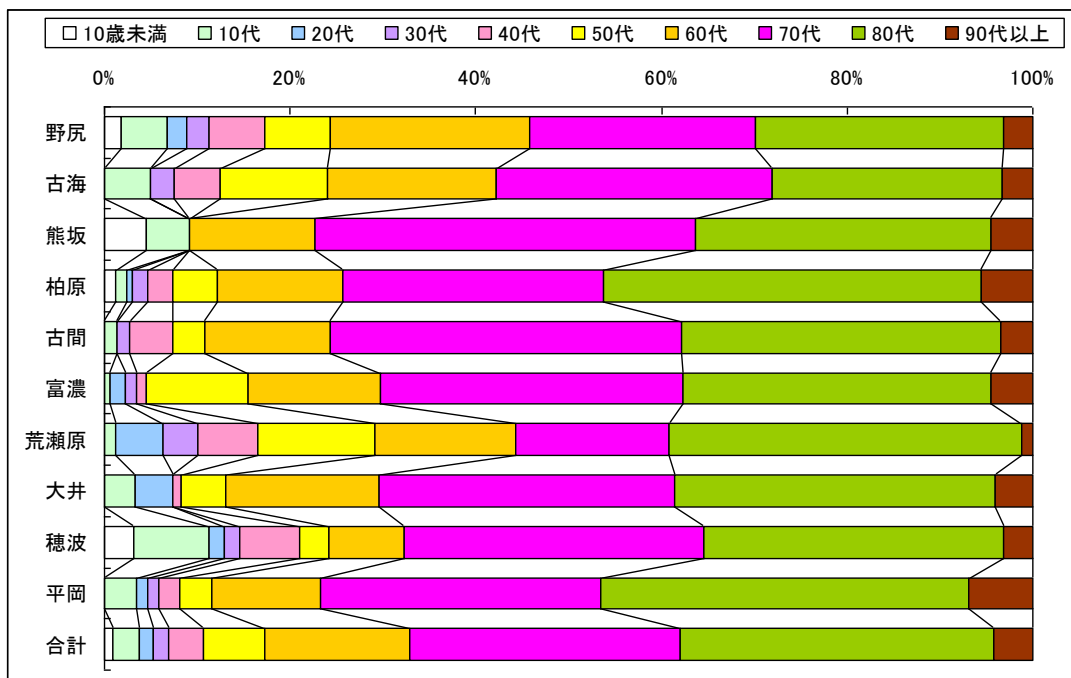
- 車両別の1日利用者数は、2月になると、日中便は全路線で7人を越えている。1日に各車両5回の運行機会があることから、1便あたり1名以上利用している状況。野尻湖タクシー(古海)では、13人を越えており、1便あたり2.7人平均となった。
- ただし、利用時間帯別には、9-12時に利用が集中している状況で、午後の利用率は低い。
- 1人が1日に利用する回数は、1回が最も多くなっており、片道のみ利用している人が多いことがわかる。また、3回以上利用者は少なく、1日のうちに複数回の移動をする人は少ないことがわかった。
- ナイトデマンドの利用は少なく、1日1人を下回っている状況である。

デマンド登録者(居住地域別)

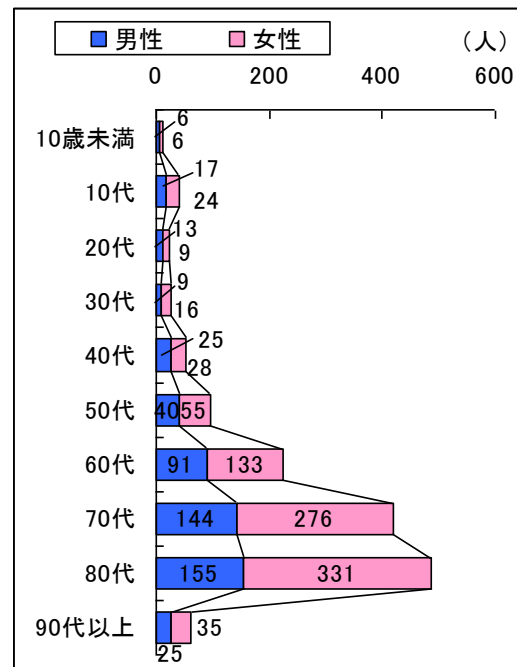
	度数	比率
野尻	284	19.7%
古海	121	8.4%
熊坂	22	1.5%
柏原	339	23.6%
古間	148	10.3%
富濃	175	12.2%
荒瀬原	79	5.5%
大井	122	8.5%
穂波	62	4.3%
平岡	86	6.0%
合計	1438	100.0%

	人口	登録率
野尻	1,203	23.6%
古海	407	29.7%
熊坂	105	21.0%
柏原	3,557	9.5%
古間	1,016	14.6%
富濃	992	17.6%
荒瀬原	219	36.1%
大井	728	16.8%
穂波	441	14.1%
平岡	570	15.1%
合計	9,238	15.6%

デマンド登録者(居住地域・年代別)



デマンド登録者(性別・年齢別)



[解説]

- 登録者数は、1,438人(3月時点)。
- 最も登録者が多いのは柏原だが、登録率では、荒瀬原、古海、野尻などが高く、柏原が最も低い。
- 男女年代別には、女性が6割、男性4割。
- どの地域においても、登録者の半数以上を70代以上が占めている。
- 野尻、古海、荒瀬原は、比較的若年層(40～50代)の登録が多くなっている。

利用率と登録率

	人口	高齢化率	利用者数	利用率	登録数	登録率	登録者利用率
野尻	1,203	32.3%	104	8.6%	284	23.6%	36.6%
古海	407	37.1%	56	13.8%	121	29.7%	46.3%
熊坂	105	39.0%	13	12.4%	22	21.0%	59.1%
柏原	3,557	33.1%	122	3.4%	339	9.5%	36.0%
古間	1,016	32.8%	40	3.9%	148	14.6%	27.0%
富濃	992	32.0%	67	6.8%	175	17.6%	38.3%
荒瀬原	219	35.6%	24	11.0%	79	36.1%	30.4%
大井	728	35.3%	46	6.3%	122	16.8%	37.7%
穂波	441	34.9%	23	5.2%	62	14.1%	37.1%
平岡	570	32.5%	34	6.0%	86	15.1%	39.5%
合計	9,238	33.4%	529	5.7%	1,438	15.6%	36.8%

[解説]

- 人口に占める利用率が高いのは、古海、熊坂、荒瀬原。対して柏原、古間が低い。
- 古間の登録率は低いわけではないが、登録者利用率が最も低くなっているため、利用促進を図る。
- 富濃、大井、穂波、平岡は、おおよそ平均的な利用状況となっている。

区分

まとめ

路線バス

- ・ 小中学生のスクール利用によって、利用者数は非常に多い(月5,000人以上)ものの、一般利用者の比率はまだまだ少ないのが現状(1日25人程度)。
- ・ 一般利用では、朝一便目の利用が特に少なく、全路線合わせても1人/日に満たないことから、次年度4月以降の利用状況を踏まえ(今年度の中学3年生が高校進学した時の利用状況)、スクールバスに特化した運行への変更なども視野に入れた検討を行なう。
- ・ 古海・菅川線については、スクール利用がなく、一般利用も少ない(1.7人/日)ことから、1便目の削減やデマンド化なども視野に入れる。

ふれあい
コスモス号

- ・ 登録者数は、1,438人で、全人口の約16%。
- ・ これまで全人口の約6%が利用している。高齢化率が全体で約33%であることから、利用者割合は、もう少し増やしたいところと言える。
- ・ 10月から利用者数は倍増しており、ダイヤ改正は成功。
- ・ 野尻、古海、熊坂、荒瀬原の利用が好調で、柏原、古間の利用がやや低調になっている。柏原は、目的地となるエリアで、徒歩での移動者も多いと想像できることから、特に古間地区に対する利用促進を図る。
- ・ 利用は、「信越病院への通院」が全移動の6割を占めているため、その他の移動ができることのアピールも重要。
- ・ 1日のうちに複数回利用する人が多くないので、複数回利用が出来ない理由を明らかにした上で、様々な移動目的に対応でき、往復の利用、複数の用事をこなす移動にも使えることを周知する。

資料3(追加資料)

